

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

羽曳野市立羽曳が丘小学校

■この調査は

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／理科に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。(英語・理科は、3年に1度の調査となります。)

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語・算数、ともに全国の平均正答率を下回っています。
- ・国語では、「書くこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域に優れ、短答式の問題について正答率が高い傾向があります。一方、「話すこと・聞くこと」の領域においては全国の平均正答率を下回っており、「話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと」の中心を捉える」「目的や意図に応じ、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる」ことに課題がみられます。
- ・算数では、「図形」の領域に定着がみられ、特に「図形の意味や性質について理解する」ことがよくできています。一方、「数と計算」や「データの活用」領域は苦手傾向にあり、特に、数と計算では「一の位が0の2つの2位数について乗法の計算ができる」「加法と情報の混合した整数の計算ができる」こと、データの活用では「示された棒グラフと複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できているか」「二次元の表から条件に合う数を読み取るかどうかをみる」ことに課題がみられます。

■質問調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・ よい傾向がみとめられる項目
困りごとや不安を大人に伝えられる、外国のことについてもっと知りたい、総合的な学習で課題を立てて調べ発表することができる、道徳の授業で考えを深めたグループで話し合う活動に取り組んでいるなど、多数の項目において全国より良い傾向がみられます。特に、「読書が好き」、「学習内容をふりかえり、次の学習につなげることができた」、「学級会の話し合いから、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」などにおいては、肯定的回答が全国平均より大きく上回っています。
- ・ 課題となる項目
「5年生までの授業でICT機器を使用した」の肯定的回答が全国に比べ低い傾向にあります。また、「算数の学習は好きだ」、「英語の学習は好きだ」は、学習の大切さは感じているものの、楽しく学習している割合は、全国に比べ少し低い数値を示しています。

■児童質問紙と学力調査結果とのクロス集計結果からみえる本校の子どもたちの姿

・ 正答率と特に強い相関関係があるという結果があらわれている項目

- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか・起きていますか」に対して、習慣がついている児童ほど、正答率が高い傾向にあります。
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」に対して、肯定的回答者ほど正答率が高い傾向にあります。
- 「読書は好きですか」に対して、肯定的回答者ほど正答率が高い傾向にあります。
- 「自分と違う意見について考えるのは楽しい」、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」、「各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている」など自分で考える行動を実行している児童ほど、正答率が高い傾向にあります。

2 これからの取組みについて

■学校で取り組んでいくこと

- ・校内研究テーマである「言語活動を大切にした授業」にICT機器を取り入れて取り組んだ成果もあり、昨年度よりも割合が少し増えている。引き続き、効果的にICT機器を取り入れて授業づくりに取り組めます。
- ・全学年に共通する基本的な視点と言語活動を大切にした授業を数年間取り組んできたことで、自分の意見を考え、相手に伝わるように工夫して発表する機会を積むことができます。さらに、次の学習に前向きに取り組めるようにまとめやふりかえりを活用していきます。
- ・国語では、目的や意図に応じた話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる力、また、それを書く力をつけていく学習活動を進めていきます。
- ・算数では、普段の授業の中にも記述による解答の経験を学習活動に取り入れていきます。また、本校の「算数定着度テスト」でつまづきを早期に把握し、児童のフォローをしていきます。
- ・多くの教員が児童と関われるような取組みを進めていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・ゲームやテレビ、スマートフォン等の使用に関わる家庭ルールを決め、しっかりと守っていくように声かけをお願いします。
- ・朝食の摂取、睡眠時間の確保、家庭での読書や学習など今後もお子さんの安定した生活習慣づくりをお願いします。
- ・3年生以上においては、自主学習ノートに意欲的に取り組んでいる児童が増えています。家庭においても励ましの声かけなどをお願いします。